

令和元年度(2019年度)事業報告

I. 理事会・評議員会の開催状況

令和元年度(2019年) 定時評議員会

日時 : 2019年5月28日(火) 10:30~12:00

場所 : 札幌プリンスホテル 国際館パミール3階 「支笏」

議題 : 1) 決議事項

第1号議案 辞任に伴う評議員の補欠選任(案)

第2号議案 任期満了に伴う理事・監事の選任(案)

第3号議案 定款の改定(案)

2) 報告事項

その他

出席者 : 出席評議員 4名(現在数7名)

居林 次雄、川崎 一彦、内野 貢、山田 明、
その他出席者

理事 村松宏一理事長、杉野秀雄専務理事

事務局 事務局次長 稲垣勝一、事務局員 和島 美樹

令和元年度(2019年) 第1回理事会

日時 : 2019年5月28日(火) 13:30~15:00

場所 : 札幌プリンスホテル 国際館パミール3階 「支笏」

議題 : 1) 決議事項

第1号議案 平成30年度事業報告

第2号議案 平成30年度収支決算報告(案)

第3号議案 令和元年度事業計画(案)

第4号議案 令和元年度収支予算(案)

第5号議案 顧問の委嘱について(案)

第6号議案 理事全員改選に伴う理事長及び専務理事の選定

2) 報告事項

その他

出席者 : 「出席理事」 6名(現在数7名)

内野 貢、杉野 秀雄、越前 雅裕、浅香 正博、杉本 拓、
土居 博昭、各理事

「出席顧問」

宮司正毅当別町長

「その他出席」

川崎一彦評議員

村松宏一前理事長

「オブザーバー出席」

駐日スウェーデン大使 マグヌス・ローバック大使の代理として
ヴィクトリア・フォシュルンド＝ベラス公使参事官
北海道知事 高橋はるみ知事の代理として
北海道総合政策部国際局 国際課国際交流室
室長 池田 和明氏 が代理出席
事務局 事務局次長 稲垣勝一、事務局員 和島美樹

みなし決議に関する令和元年度（2019年） 定時評議員会

日時： 2019年6月25日

内容： 定款第22条に基づき、定時評議員会の目的である下記の議案について、評議員に書面による同意を求めたところ、評議員全員の同意を得たので、議案については、評議員会の決議を得たものと看做した。

評議員現在数 7名 同意数7名

1、書面による同意を求めた内容

報告事項 平成30年度 事業報告

決議事項 平成30年度 収支決算（案）

1) 平成30年度 貸借対照表（案）の承認の件

2) 平成30年度 正味財産増減計算書（案）承認の件

令和元年度（2019年） 第2回理事会

日時： 2019年11月29日（金） 11:00～12:30

場所： 北海道国際交流・協力総合センター 特別会議室

議題： (1) 令和元（2019）年度 上半期 事業報告
(2) 令和元（2019）年度 上半期 収支報告
(3) その他

出席者： 「出席理事」 6名（現在数7名）

内野 貢理事長、杉野 秀雄専務理事、越前 雅裕、杉本 拓、
土居 博昭、坂本 和彦 各理事

「出席監事」

長野 実監事欠席

事務局： 稲垣勝一事務局次長、事務局員 和島美樹

II. 事業の実施状況

1. 交流事業

1) 展示会

(1) ヴェヴネーテット・ダーラナ作品展「白樺と桜」

日時： 2019年4月20日（土）～6月30日（日）

場所： スウェーデン交流センター センターホール

来館者 : 4,258名

ダーラナ県内の織物作家グループ「ヴェヴネーテット・ダーラナ」の9名の作家による手織りのテキスタイル作品の展示会を実施した。展示会の初日にあわせて作家5名が来日し、作家の得意とする技法を用いたワークショップも開催した。

*ワークショップ

a. 「ブレスレットを織る」

講師 : インゲル・ニルソン氏

参加者 : 10名

b. 「ポンポンのキーリング」

講師 : エヴァ・ネルソン氏

参加者 : 3名

c. 「テキスタイルのブローチ作り」

講師 : オーサ・ヴィークステン・ストレムボム氏

参加者 : 7名

(2) アーティスト・イン・レジデンス2019「ロベルト・オルデルゴーデン作品展」

日時 : 2019年7月6日(土)～9月30日(月)

来館者 : 1,540名

*交流事業 1-4) アーティスト・イン・レジデンスを参照

(3) スウェーデンの地方紹介シリーズ⑧「エーランド島」

日時 : 2019年7月6日(土)～9月29日(日)

場所 : スウェーデン交流センター センターホール

来館者 : 1,533名

スウェーデンの地方や地域を紹介するシリーズ第8回。今回は、「アーティスト・イン・レジデンス」の作品展と同時期に開催し、同事業で今年来日した作家の出身地であるエーランド島を取り上げ、その魅力をパネルで紹介した。

(4) 「北欧の先住民族 サーミ」展および関連企画

日時 : <展示会> 2019年10月5日(土)～11月24日(日)

会期44日 813名来場

<セミナー> 10月5日(土) 10:30～11:30 15名参加

<映画上映会> 10月5日(土) 14:00～17:00 33名参加

<ワークショップ> 10月6日(日) 10:30～11:30、14:00～15:00

各回9名ずつ、計18名参加

<ミニコンサート> 10月6日(日) 11:40、13:30 (各20分)

計32名参加

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール
{映画上映会のみ ふれあい倉庫 (石狩郡当別町錦町)}
講 師 : エリーナ・ニィゴード氏 (サーミ博物館広報部長)
ダニエル・ヴィークスルンド氏 (ヴァイオリン奏者/リクスペルマン)
主 催 : 一般財団法人 スウェーデン交流センター
協 力 : アイッテ (サーミ博物館)
後 援 : スウェーデン大使館、当別町、当別町教育委員会、
当別・レクサンド都市交流協会

北欧の先住民族であるサーミの人々の土地や暮らしを紹介する展示会およびイベントを実施した。サーミ博物館アイッテ (スウェーデン・ヨックモック) の巡回展示会を運んでくることをメインに、オープニングセミナー、ワークショップ等を含めて同館の協力を得て行うほか、必ずしも明るい歴史だけではないサーミ民族のより多角的な紹介を目指して、サーミ人の少女を主人公にした映画の上映会を関連企画として実施した。

講師にはサーミ博物館広報担当のエリーナ・ニィゴード氏を迎え、詳しい解説を添えていただいたほか、工芸ワークショップを通してサーミ民族の文化を紹介した。また、同時期に来日したヴァイオリン奏者でスウェーデンのリクスペルマン (認定伝統音楽奏者) であるダニエル・ヴィークスルンド氏のミニコンサートも開催し、スウェーデン北部の神話・民話のお話しを交えながら、演奏による文化紹介を行った。

本企画は宝くじの助成金 (一般財団法人自治総合センターの主催する「コミュニティ助成事業」) を活用して実施した。

(5) 「ダーラヘスト SCFコレクション」展

日 時 : 2020年2月1日 (土) ~ 開催中
場 所 : スウェーデン交流センター センターホール
来館者 : 70名 (2月29日現在)

スウェーデンの工芸品として人気の高い木彫りの馬「ダーラヘスト」の、アンティークレプリカを中心としたスウェーデン交流センター所蔵の希少な作品を紹介した。令和2 (2020) 年度へ引き続いて展示する。希少なダーラヘストの蒐集は継続しているが、今年度は収蔵すべきレプリカ作品や限定品等がなかったため、購入を行わなかった。

2) イベント

スウェーデンの生活文化等を紹介することを目的に各種イベントを企画実施した。

(1) 第36回 夏至祭

日 時 : 2019年6月23日 (日) 10:00~15:00
場 所 : スウェーデン交流センター、スウェーデン公園、その他
参加者 : 3,000名 (主催者発表)

* 当別・レクサンド都市交流協会、当別町との共催

夏の到来を祝うスウェーデンの「夏至祭」を今年も共催により開催した。協賛企画として、工房棟での体験教室（工房事業）およびガラス作品のアウトレット販売を行った。

(2) ザリガニパーティ

日 時 : 2019年8月18日(日) 12:00~14:00

場 所 : スウェーデン交流センター 中庭

参加費 : 1,300円(未就学児は無料)

参加者 : 47名(予約人数50名、キャンセル4名、当日参加1名)

スウェーデンの夏の風の風物詩である、茹でザリガニを食べる会を開催した。昨年に続いて、阿寒漁業協同組合より茹でたウチダザリガニを購入し、スウェーデンのレシピによるスープに漬けて用意したものを提供した。同種は環境省指定の特定外来生物(駆除対象)であり、環境保全の観点からも参加者や淡水生物の研究者から良い評価を得ている。味も好評のため、今後も利用していきたい。

(3) スールストロミング試食会

日 時 : 2019年9月8日(日) 12:00~14:00

場 所 : スウェーデン交流センター 中庭

参加費 : 1,300円

参加者 : 19名

「世界一臭い食品」として知られるスウェーデンの発酵ニシンの罐詰「スールストロミング」を試食する会を今年も開催した。日本ではなかなか体験しにくい珍味であり、参加者には好評を得たが、このところ試食会自体の人気に陰りがみられるため、来年以降の実施方法については再検討をし、よりよい企画へ改善が必要である。

(4) 「クップ」普及への取り組み

① クップ体験会

スウェーデン生まれの薪投げゲーム「クップ」を体験して頂いた。

日 時 : 2019年5月25日(土)より原則毎月第4土曜日

①5月25日 ②6月28日 ③8月31日 ④9月28日

⑤10月26日 各日とも13:00~14:00

参加者 : 延べ16名

場 所 : スウェーデン交流センター 裏庭

② 藤女子大学での出張クップ体験会

日 時 : 2019年5月26日(日) 9:00~14:00

参加者 : 21名

場 所 : 藤女子大学(石狩市花川)

同大学で講義を持っている山本幹彦氏(NPO法人当別エコロジカルコミュニティー)

からの要望に応え、スウェーデン生まれの薪投げゲーム「クップ」を体験していただいた。

③ 道の駅とうべつでのクップ紹介企画への用具貸し出し・協力

日 時 : 2019年6月22日(土) *悪天候により中止

場 所 : 北欧の風 道の駅とうべつ(石狩郡当別町)

道の駅職員へクップ普及の試みを紹介したところ、実際にイベントが実施される運びとなり、用具の貸し出しおよびルール説明を行ったが、残念ながら当日は大雨に見舞われ、イベントは中止となった。

④ 「当別祭り(当別神社例大祭)」でのクップ体験企画への用具貸し出し・協力

日 時 : 2019年8月15日(木)、16日(金)

場 所 : 当別神社(石狩郡当別町)

主 催 : あそびーの

地元当別神社のお祭りに来場する子どもたちへ、露店以外の遊びを提供したい、とする団体の要望に応え、クップ用具の貸出を行った。

(5) SCFユールフェア

日 時 : 2019年11月30日(日)～12月25日(月)

開館22日 来場者217名

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール

スウェーデンのユール(クリスマス)の祝い方や習慣などを紹介した。

フェア内企画として、クリスマスにちなんだグッズを販売する「ユールマーケット」、手作りを楽しむ「クラフト講習会」、スウェーデンの伝統的な冬のお祝い「ロシア祭」を開催した。フェア期間全体の来場者数や、販売を目的とした「マーケット」の売上がいまひとつであったため、告知方法やラインナップを工夫し、次回開催では改善できるよう検討する。

(6) ロシア祭

日 時 : 2019年12月8日(日) 13:00～17:00

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール

来場者 : 85名

スウェーデンの冬の象徴ともいえる「ロシア」のお祝いを行った。スウェーデン人職員のテレーズ・カールソンがロシアに扮し、地元の子どもたちとロシアの歌を披露した。ロシアに登場する食品の紹介や飾り付けなど、毎年行っていて定着しているものは今年も好評を得たが、さまざまな面を今後も工夫し、より魅力的な文化紹介イベントとなるよう継続する。

3) セミナー、講習会

スウェーデンの生活文化や社会を紹介することを目的に各種セミナー・講習会を企画実施した。

下期には、新型コロナウイルス流行拡大の影響で中止を余儀なくされたものもあったが、おおむね当初の予定通り実施した。

(1) フィーカ

日 時 : 2019年 原則毎月第3土曜日 14:00~15:30 に開催
①4月13日 ②6月15日 ③7月20日 ④8月10日
⑤11月23日 ⑥12月21日 ⑦1月18日 ⑧2月15日
⑨3月21日

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール

参加費 : 500円 (飲み物、茶菓付)

参加者 : 延べ39名

スウェーデンで広く親しまれている習慣である「フィーカ (お茶の時間)」の雰囲気に基づき、スウェーデンのさまざまなトピックを楽しむ「おしゃべりの時間」を提供した。主に季節に合わせた話題を提供したが、参加者からはさまざまな質問や話題提供があり、その後「スウェーデン・セミナー」のテーマとして取り上げたものもあった。

本企画は当別町の「2019年度高校生姉妹都市ホームステイ研修事業」の事前研修のひとつとして採用され、スウェーデン渡航前の高校生に現地の情報やマナーなどを知ってもらう場として活用された。

(2) 「スウェーデン・セミナー」特別セミナー

日 時 : 2019年5月28日 (火) 15:30~17:00

場 所 : 札幌プリンスホテル 国際館パミール (札幌市中央区)

参加費 : 無料

参加者 : 64名

講 師 : 「スウェーデンの今: 多様性のある労働力」

駐日スウェーデン大使館 公使参事官/代理大使

ヴィクトリア・フォシュルンド=ベラス公使参事官

「貧富の差と国の福祉の考え方: スウェーデンはどうか? 他の国は?」

目黒聖直氏 (北海道スウェーデン協会事務局長)

「“Beyond2018 日本とスウェーデンの150年から考える、次に向けての提言”

川崎一彦氏 (東海大学名誉教授/SCF評議員)

スウェーデン大使館からヴィクトリア・フォシュルンド=ベラス公使参事官をお招きして講演会を行った。移民・難民や女性の社会参画、男性の育児休暇など、日本でも注目されているテーマに触れつつ、スウェーデンの現在について幅広くお話いただき講演後の質疑応答でもタイムリーなトピックが話題に上がった。

またスウェーデンとゆかりの深い二人の講師にもご講演いただき、さまざまな角度からスウェーデンに関する話題提供を行った。

(3) 「スウェーデン・セミナー」

日 時 : 2019年 原則毎月最終土曜日 14:00～16:00

- ①4月27日 「カール・ラーション：スウェーデン国民の夢を描いた画家」 11名参加
- ②6月 1日 「スウェーデンでの男女平等とLGBT」 8名参加
- ③6月29日 「スウェーデンのお祭りとお祝い」 5名参加
- ④7月27日 「スウェーデンの教育」 17名参加
- ⑤1月25日 「スウェーデンの王室」 5名参加
- ⑥2月29日 「スウェーデンのイノベーション」 中止

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール 2F会議室

参加費 : 500円

参加者 : 延べ46名

スウェーデンに関するさまざまなトピックで、SCFスウェーデン人職員がお話するシリーズを開催した。上期はソフィア・ヤンベリが、下期は後任のテレース・カールソンが担当した。特に「教育」のテーマでは参加者からさまざまな質問があり、スウェーデンの教育に対する関心度の高さが伺えたが、毎回のテーマごとに参加者の関心度にかなりばらつきがあるため、アンケート等を活用して、より効果的な話題提供ができるよう2020年度も計画を進める。

(4) 「スウェーデン語会話ミニコース」

スウェーデン語学習経験のない初心者を中心に語学講座を開講した。

<上期>

日 時 : 2019年6月5日(水)より全4回

時間は各日とも18:30～20:00(90分) すべて水曜日

- ①6月 5日 ②6月12日 ③6月19日 ④6月26日

場 所 : 札幌市男女共同参画センター 4F研修室

参加費 : 7,000円(全4回)

参加者 : 延べ40名

講 師 : ソフィア・ヤンベリ(SCF職員)

「旅行・留学に役立つスウェーデン語」をテーマに講座を開講した。これまでに実施していたコースよりも短い全4回という「お試し」とも言えるスタイルが受け入れられ、定員を超える申し込みがあった。

<下期>

日 時 : 2020年2月13日(木)より全5回

時間は各日とも18:30～20:00(90分) すべて木曜日

- ①2月13日 ②2月20日 ③3月 5日 ④3月12日
- ⑤3月19日 (※③④⑤の会は中止)

場 所 : 札幌市男女共同参画センター 4F研修室

参加費 : 9,000円(全5回)
参加者 : 延べ22名
講師 : テレース・カールソン(SCF職員)

上期に実施した講座の好評を受け、旅行をテーマにした短期コースを開講した。上期と同様に定員を超える申し込みがあり、講座内容も好評であったが、新型コロナウイルス流行拡大への懸念から、イベント等の実施について再考を求める要請が北海道知事より発表されたことを考慮し、感染拡大防止のため、後半の3回については中止した。

受講者へのアンケートでは、本講座はスウェーデン語を講師から直接学べる貴重な機会であるという期待の声や、今後の講座内容へのリクエストなどもあった。受講者からの意見を参考に、来期も開催に向けて計画を進める。

4) アーティスト・イン・レジデンス

スウェーデンの優れたハンドクラフトの作家を短期滞在で招聘し、SCF工房棟で自身の制作活動をしてもらうと共に、日本の作家との技術交流やスウェーデンのクラフトの世界を紹介するシリーズ。

今年度のアーティストは、手工芸の盛んなエーランド島にアトリエを構えて活動するガラス作家、グラール技法を得意とするロベルト・オルデルゴーデン氏を招聘し、約5週間の制作活動および制作工程のデモンストレーション、セミナー、展示会を行った。

日時 : 2019年6月2日(日)～7月7日(日) 約5週間

作家 : ロベルト・オルデルゴーデン氏(ガラス作家)

1967年 スウェーデン生まれ。

幼少の頃よりアートに親しみ、陶芸で制作活動を始めたのちにガラスと出会い制作を始める。エーランド島に点在するバイキング時代の遺物や、自身が制作したおとぎ話などをモチーフに、スウェーデン発祥のガラス装飾法であるグラール技法を用いて作品を生み出している。

- ・ SCF工房での制作活動
- ・ グラール技法のデモンストレーション
 - 6月15日(土) スウェーデン交流センター ガラス工房 15名参加
- ・ 学生対象のデモンストレーション、セミナー
 - ① 6月22日(土)
東海大学 石塚ゼミ(デザイン学科) 11名参加
 - ② 6月28日(金)
当別中学校、西当別中学校、各美術部および随行者 計46名参加
- ・ 「ロベルト・オルデルゴーデン作品展」
 - 期間 : 7月6日(土)～9月30日(月) 開館日数75日
 - 会場 : スウェーデン交流センター センターホール
 - 来館者 : 1,540名

5) 人的交流支援

(1) レクサンド高校木工科生徒の職業実習受け入れ

音威子府高校との短期交換留学ならびに旭川・当別でのインターンシップを目的に毎年2名が来日するレクサンド高校生の受け入れサポートを行うべく連絡していたが、「経済的理由により、音威子府高校との交流を中止する」旨の連絡がレクサンド高校よりあり、従って旭川、当別での研修も中止となった。来年度以降の意思は現時点で不明。

(2) レクサンド高校生日本語クラス生徒の日本研修受け入れ支援

2019年度の派遣は見合わせとの情報があり、今年度は実施されないこととなった。

6) その他（後援事業等）

他団体からの要請等により、スウェーデンに関連したセミナーやイベントへの協力等を行った。

① 「スウェーデンのイメージを絵画で変えた画家カール・ラーション」へのセミナー講師派遣協力

日時：2019年4月3日（水）9：30～11：30

会場：北海道大学遠友学舎（札幌市北区）

主催：ホイスコーレ札幌

内容：デンマークの「フォルケホイスコーレ」を模範として、幅広く生涯学習の場を目指して活動するホイスコーレ札幌（代表：生越玲子氏）の要請に応え、SCF職員を講師として派遣した。

② 「イングリッシュ・サマーキャンプ」への協力

日時：2019年6月20日（木）11：00～17：00

会場：札幌青少年会館（札幌市南区）

主催：札幌創成高校

内容：（公財）札幌国際プラザの紹介により、主に札幌市内の留学生の協力を得て英語の特訓を行う校外学習授業に、スウェーデン人職員を派遣協力した。出身地の文化や習慣の話など、協力者が英語で話す内容を聞き、書き取り、質問し、発表にまとめるという課題のほか、館内では日本語は一切禁止という「英語漬け」の企画であった。

③ 「ヒルズサロン」への協力

日時：2019年6月28日（金）14：00～17：00

会場：スウェーデンヒルズ防災センター（石狩郡当別町）

主催：スウェーデンヒルズ町内会

参加者：23名（スウェーデンヒルズ在住者）

内容：「季節とともに変わるスウェーデンの生活」のテーマで講演を行ってほしいとの依頼により、SCFスウェーデン人職員を派遣した。

参加者全員がスウェーデンヒルズ在住のスウェーデンハウスオーナーであり、スウェーデン文化に興味のある様子であったが、スウェーデン交流センターに行ったことがない、という参加者も見られた。地域住民への情報提供をより密にすると同時に、さまざまな年代への魅力的な内容づくりが必要ではないかと感じさせられる機会であった。

④ 「異文化交流カフェ」への協力

日時：2019年5月30日（木）より全4回

①5月30日「北欧のライフスタイル」

②6月27日「スウェーデンの食文化とは」

③7月25日「スウェーデンの教育と創造性」

④8月22日「スウェーデンの環境への取り組み」

各回とも木曜日 16:00～17:00

会場：風街カフェ（石狩郡当別町白樺町）

主催：NPO法人ビョルクとうべつ

参加者：延べ39名

内容：スウェーデンの文化や社会を学ぶセミナーシリーズを行ってほしいという依頼により、SCFスウェーデン人職員を講師として派遣した。

2022年に当別町とレクサンド市の姉妹都市交流が35周年を迎えることを見据えて、「スウェーデンについて学び3年後にはスウェーデンへ行こう！」というキーワードのもと、近隣在住の大学生や高校生を主なターゲットとした会であったが実際の参加者は高齢の方や主婦など幅広い層が集まり、多様な質問が寄せられた。

⑤ 「映画『ハーフ』上映会およびオンライン意見交換会」協賛

日時：2019年9月22日（日）

会場：ABF-huset I Huddinge（ストックホルム）

URL（Universal Research Laboratory）（東京）

主催：Beyond 2018

内容：日本の映画「ハーフ」をスウェーデンと日本で同時に鑑賞し、オンラインで感想をシェアするイベントに協賛した。本作品は、5人のいわゆる「ハーフ」たちが、かつて単一民族と言われてきた国において、多文化・多人種であるとはどういうことなのか、当人たちの複雑な心境を見つめながら描いたドキュメンタリーである。上映後には日瑞の参加者から様々な意見や質問、問題点の指摘等が飛び交い、日本やスウェーデンでの状況を知る機会となると同時に、さまざまな気づきを参加者に与える会となった。

⑥ 「北欧デザインを楽しむ！インテリアと暮らし（第1回）」への協力

日時：2019年10月24日（木）13:00～15:00

会場：スウェーデン交流センター センターホール

主催：NHK文化センター（講師：萩中留美子氏）

内 容 : 「北欧の暮らしの知恵をインテリア空間へ取り入れ、理想の空間へ」とのテーマで企画された講座に協賛し、会場の貸出およびスタッフによるミニセミナーの協力をした。受講者の関心はスウェーデン交流センターに対するものではなかったが、展示物の解説およびスウェーデン人職員によるミニセミナーに興味深く耳を傾け、積極的な質問が出るなどした。

2. 広報事業

1) 広報誌「ビョルク (邦文)」の発行

「ビョルク」142号 4月 1日発行 2,500部

「ビョルク」143号 7月 1日発行 2,500部

「ビョルク」144号 10月 1日発行 2,500部

「ビョルク」145号 1月 1日発行 2,500部

2) スウェーデン交流センターのホームページ・フェイスブック等 SNS

① フェイスブック、ツイッター、インスタグラムを利用し、当財団主催イベントの告知を中心に、タイムリーな情報の発信を行った。

② ホームページを随時更新し、コンテンツの充実を図った。

3) 資料の整備

図書コーナーを整備し、来館者への貸出や閲覧スペースの提供を行った。

図書コーナー充実のため、下記の書籍を購入した。

① 小説「黄昏に眠る秋」ヨハン・テオリン著 早川書房 (エーランド展関連)

② 小説「冬の灯台が語るとき」ヨハン・テオリン著 早川書房 (エーランド展関連)

③ 小説「夏に凍える舟」ヨハン・テオリン著 早川書房 (エーランド展関連)

④ 小説「赤く微笑む春」ヨハン・テオリン著 早川書房 (エーランド展関連)

⑤ 絵本「ゆきとトナカイのうた」ポプラ社 (サーミ展関連)

⑥ 一般「fika 世界一幸せな北欧の休み方・働き方」芳子ビューエル著

キラジェンヌ株式会社

⑦ 一般「こどもと暮らす北欧スウェーデン」井浦ふみ著 有限会社マイルスタッフ

⑧ 一般「グレタのねがい 地球をまもり 未来に生きる」

ヴァレンティナ・キャメリニ著 西村書店

⑨ 一般「あなたの知らない政治家の世界 スウェーデンに学ぶ民主主義」

クラウディア・ワリン著 新評論

⑩ 一般「幸せの国スウェーデンから くまさんと私のおもしろ北欧デイリーライフ」

やまだあいこ著 DU BOOKS

⑪ 一般「ラーゴム ” 私にとって、ちょうどいい” スウェーデンの幸せ哲学」

ニキ・ブランドマーク著 東洋館出版社

⑫ 一般「スウェーデン・デザインと福祉国家」太田美幸 著 新評論

⑬ 一般「良いスウェーデン、悪いスウェーデン」ポール・ラパチオリ著 新評論

また、下記の書籍をご寄贈いただいた。

- ① 語学書「ニューエクスプレスプラス スウェーデン語」速水 望 著 白水社より
- ② 一般「サーミ神話について」GORANUS著 サーミ博物館より
- ③ コミック「北欧女子オーサ 日本を学ぶ」オーサ・イエークストロム著 角川書店より

4) マスコミ対応

- ① 2019年4月発行
「スロウな旅 北海道」(雑誌) 車で旅する西北海道・石狩エリア編
内観・外観・展示物撮影
- ② 2019年9月17日発行
「プレミアムプレス」(朝日新聞社 朝日ファミリー月間情報誌) 当別特集号
ソフィア・ヤンベリ (SCF職員) インタビュー記事掲載
- ③ 2019年10月
「北欧の風 道の駅とうべつ」当別町 道の駅室
PRビデオ作成のための撮影小物としてSCF収蔵の物品貸し出しの協力
- ④ 2019年11月13日放送
「北海道内地域ニュース」(HTB 北海道テレビ放送) 報道取材
「北欧の先住民族 サーミ」展 紹介

3. 工房事業

1) ガラスの作品展

・ガラス工房作品展

日 時 : 2019年7月1日(月)～7月13日(土)

会 場 : 手風琴(札幌市北区)

毎年恒例となっているスウェーデン交流センターのガラス工房職員(甲斐裕士氏)の作品展を開催した。今年度は「アーティスト・イン・レジデンス」事業で来日して制作を行ったロベルト・オルデルゴーデン氏の作品も加え、合同展として、展示し、好評を得た。

2) ガラス工芸体験教室、木工教室

(1) 吹きガラス体験教室

日 時 : 毎月第2・4土曜日(原則/予約制)

場 所 : スウェーデン交流センター ガラス工芸工房

講 師 : SCFガラス工房スタッフ

参加費 : 2,000円(送料は参加者負担にて別途)

参加者 : 延べ27名

(2) 木工教室

日 時 : 毎月第2・4土曜日(原則/予約制/現在は空席なし)
場 所 : スウェーデン交流センター 木材工芸工房
講 師 : 島田晶夫氏(デザインスタジオシマダ)
参加者 : 45名

(3) 夏至祭協賛企画

日 時 : 2019年6月23日(日)10:00~15:00
場 所 : スウェーデン交流センター ガラス工芸工房、木材工芸工房
講 師 : SCF職員、島田晶夫氏(デザインスタジオシマダ)
参加者 : 吹きガラス体験 9名
木工教室 10名

4. 販売事業

1) ガラス工房作品収入

当工房で制作されたガラス作品の展示販売を行った。2015年度より当別町の「ふるさと納税」の記念品のひとつに取り上げられているガラス作品については、昨年度からガラス作品2アイテム(20,000円と30,000円の返礼品)を加え、増販を期待したが、予算より大幅減となった。(予算525千円⇒実績285千円 240千円の減)

スウェーデンハウスの竣工祝い品は502口の予算に対して、実績439口と63口減、(▲900,270円減)となり、また、道の駅等の委託販売の増販を期待していたが、大きく予算と乖離し、ガラス作品販売は予算に対して1,108千円の減収となった。

また、外部団体の企画するイベントへ出展し、ガラス販売を行ったが、実績27,100円と期待した数値には届かなかった。

①「サッポロ モノヴィレッジ」への参加

手作り作品の即売イベントへ出展し、ガラス作品の展示販売を行った。

日 時 : 2019年 5月5日(日)、6日(月・祝)
場 所 : 札幌ドーム(札幌市豊平区)
来場者数 : 33,344人(2日間合計)
主 催 : テレビ北海道、札幌ドーム

2) 輸入雑貨の販売

スウェーデンの民芸品であるダーラヘスト、その他スウェーデン雑貨の輸入販売を行った。雑貨においても、スウェーデンハウス竣工記念品は497口の予算に対して、実績440口と57口減により(▲1,097,250円減)大幅な予算未達となった。また、一般販売もホイスコーレ札幌主催セミナーでの持込販売で174千円と予定外の販売があったこと、道の駅等の委託販売が予算比で300千円増となり、雑貨その他収入は116千円の増販となった。

しかし、販売事業全体としては、13,450千円の予算に対して、実績13,289千円と160千円の減収となった。

3) 販売全体

雑貨その他については、予算を達成したが、ガラス作品収入については大幅な予算未達で、ガラス作品の販売について具体策を講じていきたい。

2019年度 販売実績（4月～3月）

内 容	前年実績	今期予算	今期実績	予算対比
ガラス作品収入				
関連売上	7,505,200	7,750,000	7,099,972	-650,028
一般売上	837,780	1,400,000	1,021,595	-378,405
委託販売	224,011	169,000	88,990	-80,010
ガラス作品収入計	8,566,991	9,319,000	8,210,557	-1,108,443
ガラス作品 工房分	6,425,243	6,989,000	6,157,918	-831,082
販売事業分	2,141,748	2,330,000	2,052,639	-277,361
雑貨・その他収入				
関連売上	8,770,780	8,896,000	9,214,808	318,805
一般売上	1,303,813	1,335,000	1,074,454	-260,546
委託販売	708,528	889,000	947,360	58,360
雑貨・その他収入計	10,783,121	11,120,000	11,236,619	116,619
販売事業売上合計	12,924,869	13,450,000	13,289,258	-160,742

* 販売事業売上合計は「雑貨・その他収入」にガラス作品収入のうち「販売事業分」を合計した金額

4) 消費税増税に係る作業について

2019年10月に実施された消費税増税（8%→10%）について、消費税10%に上がる時を機に、これまで行ってきた「窯元価格の25%OFF」を廃し、10月1日より新たに商品価格を見直し、商品価格と消費税を明記することとして、作業を行った。

以 上